

私たちは日本政府に核兵器禁止条約に調印し、批准することを求めます



# 岡山県原水協通信

2020年1月6日 No498  
原水爆禁止岡山県協議会  
700-0981 岡山市北区西島田町4-25  
TEL086-244-4526 (F) 805-6172  
kenmin@po5.oninet.ne.jp

## 今年を核兵器廃絶の転機の年に



行動終了後参加者全員で記念写真（後楽園入り口前）

### NY行動参加者を先頭に新春行動



岡山県原水協は1月4日、岡山後楽園入口で新春署名行動を行いました。午前11時からの行動には今年4月の原水爆禁止世界大会 inNY/NPT 要請行動に参加を予定している5名を先頭に新婦人、人権連、高教組、自治労連、民医連、平和委員会、林病院の組織などから15人が参加しました。

平井県事務局長、伊原県9条の会事務局長、安岡林病院看護師(2015年NY行動県代表団団長)がマイクで訴えました。平井事務局長は「今年は被爆75年、国連で5年に1度のNPT再検討会議が開催さ

れます。核兵器禁止条約の発効で、核保有国を追い詰める絶好の機会です。今年を核兵器廃絶の転機の年にしましょう。禁止条約を批准した国は34か国。すべての国に早期批准を求める署名にご協力を」と訴えました。また唯一の戦争被爆国日本政府が条約に背を向けていることを厳しく批判し「政府に条約批准を迫り、批准する政府を私たちの手で作りましょう」と呼びかけました。観光で後楽園を訪れた県内外の人とも会話が弾み長崎から来たというご夫婦は「小学生の友達がたくさんなくなった」と話され、ベトナム人の女性はカタカナで署名に応じてくれました。1時間の行動で、43筆の署名と、1250円の募金が寄せられました。

写真・左、マイクで訴える平井、伊原、安岡の各氏。下、観光客に署名をしていただいているようです。1月4日

署名行動終了後、近くの新婦人県本部で温かいおでんをいただきながら茶話会。自己紹介しながら平和への思い、NPT参加の決意など交流、楽しい時間を過ごしました。

